

付録2 よくある質問 (FAQ)

(1) フィリピンへの進出を考えていますが、まず、どこから情報を入手すれば良いでしょうか。

PEZA や BOI といった、フィリピンでの外国投資関連機関は日本に事務所を有していません。そのため、日本でフィリピン進出の情報収集を行う場合、日本アセアンセンターのウェブサイトや刊行物を通じて情報を入手することが考えられます。日本アセアンセンターは、ASEAN 加盟国政府と日本国政府の協定によって 1981 年に設立された国際機関です。正式名称は「東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター」といい、日本と ASEAN 諸国間の「貿易」「投資」「観光」という 3 分野における経済促進と、「人物交流」の促進を主な目的として、活動しています。ASEAN 諸国から日本への輸出の促進、日本と ASEAN 諸国間の直接投資、観光及び人物交流を促進するため、ASEAN 商品の展示・商談会、各種セミナー・ワークショップの開催、ミッションの派遣・招へい、人材育成、文化紹介イベント、各種資料の発行及び情報提供など、多岐にわたる事業を実施しています³⁰。また、日本貿易振興機構（ジェトロ）に問合せを行うことや、相談を行うことで情報を集めることもできます。

■日本アセアンセンター

所在地：〒105-0004 東京都港区新橋 6 丁目 17-19 新御成門ビル 1F

電話： 03-5402-8006 (貿易投資クラスター)

■日本貿易振興機構（ジェトロ）

所在地：〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル

電話： 03-3582-5511 (総合案内)

オンライン相談の申込み：<https://www.jetro.go.jp/services/advice.html>

(2) フィリピンでよくあるトラブルとその対処方法を教えてください

よくあるトラブルとしては、タクシーの利用です。日本でタクシーに乗る際は、ドライバーがまずメーターを倒し、目的地に到着した際にメーターに記載された金額を払いますが、他方、フィリピンではメーターを倒さないドライバーが多く存在し、到着時に法外な値段を請求されるケースがよくあります。空港では特にこのようなトラブルが起きやすいため、注意が必要です。このようなトラブルを防ぐため、まずメーター利用を前提としてタクシーに乗る意思表示をし、ドライバーが難色を示した場合は、避けるという方法が有効です。英語が得意でない方でも、行き先を告げ、「メーター、プリーズ」と言って反応を見ればまずは十分です（慣れている場合、料金交渉をして、妥当な値段を合意してから目的地に向かってもらう方もいますが、初心者にはお勧めしません）。

³⁰ <http://www.asean.or.jp/ja/ajc/>

また、近年ではフィリピンでも **Grab** などの配車サービスアプリが広く普及しており、上記のようなトラブルを回避することができます。

例えば **Grab** を利用した場合、あらかじめ登録したクレジットカードで決済が行われます。到着時に、運行距離を基準とした料金がカード決済され、領収書もメール等で入手できるため、車内でお金のやり取りやレシートのやり取りを行う必要がなく便利です。

次にショッピングセンターでのスリについてです。マカティ市やタギッグ市、セブ市やダバオ市にも、外国人が気軽に買物ができる大型のショッピングエリアが数多くあります。ショッピングセンターは、基本的に全ての出入りで係員が手荷物等のチェックを行い、出入りを管理しています。しかし、係員のチェックは必ずしも厳格なものではなく、形式的なチェックとなっているため、様々な人がショッピングセンターに入り込みます。そのため、安全なはずのショッピングセンター内でも、日本人がスリやひったくりに合うケースが報告されています。貴重品や鞆は常に離さず、注意を払うことが重要となります。

(3) フィリピンの生活環境（教育、医療、娯楽）を教えてください。

教育面では、マニラに在フィリピン日本大使館附属マニラ日本人学校（Manila Japanese School、通称「MJS」）があります。MJS は日本政府の認可の下、日本の義務教育と同等のカリキュラムに従った教育を行っており、小学校と中学校を合わせて数百名規模となっています。学校は、ボニファシオグローバルシティ（BGC）に所在しています。BGC は他の地域と比べ治安も安定しており、安心して通学できる場所となっています。

（ウェブサイト）

在フィリピン日本大使館附属マニラ日本人学校：<https://www.mjs.ph/>

医療面については、外務省のウェブサイト上に、「世界の医療事情」として、フィリピンの衛生・医療事情、罹患しやすい病気や怪我、予防接種（ワクチン接種機関を含む）、病気になった場合の医療機関等の情報が掲載されています（<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/phili.html>）。医療機関の情報は、マニラ首都圏の情報として、マカティ市、タギッグ市、パサイ市、マニラ市エルミタ地区、モンテンルパ市アラバン区に立地する機関が対象となり、マニラ首都圏以外では、セブ市、ダバオ市に立地する機関が対象となっています。

日本人駐在員の医療機関の利用状況としては、日本人医師がいるマニラ日本人会診療所の利用を基本とし、手術や入院が必要な場合は、適宜、マニラ首都圏にあるマカティメディカルセンターやセントリュクスメディカルセンターの利用が好まれています。

娯楽に関しては、日本人の駐在員の場合はゴルフが多いようです。プレーフィーは地域やコースによって異なりますが、マニラ近郊であれば数千円から 1 万円程度です。また、駐在員の家族向けでは、ゴルフだけでなく、ヨガ、フィットネス、手芸、タガログ語など習い事の選択肢も多く、マニラ日本人会でのサークル活動も活発に行われています。

食事面では、近年和食ブームにより、マニラ首都圏を中心に日本食レストランが続々とオープンし、選択肢は多い状況です。また、マカティ市内には日本食材店もあり、日本の調味料や、インスタント食品などが気軽に手に入ります。食事面では、日本人にとって比較的良い環境にあります。

(4) フィリピンの治安に関する情報はどこで入手できますか。

全国的な治安・災害・疾病等に関わる安全情報は、基本的に日本国外務省の海外安全ホームページ (http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo_013.html#ad-image-0) 又は在フィリピン日本国大使館 (http://www.ph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html) ホームページで入手可能です。

在フィリピン日本国大使館のウェブサイトより、在留邦人向けメールマガジンサービスの登録が可能です。このメールマガジンに登録を行っておくと、大使館より治安・安全情報をタイムリーに受け取ることができます。